

釧路管内の酪農・畜産業における人材確保と持続可能な雇用体制の構築を目的とし、求職者と農業法人の効果的なマッチング支援に取り組む。
本事業では、主に酪農の作目における搾乳・飼養管理等の基礎的技術を担う人材の確保をするため、以下のような取り組みを行う。

- ・新規就農フェア（農業人フェア）などへの出展・広報活動
- ・農協や地域団体のホームページ上に求人・公募専用ページを新設
- ・求職者向け体験会の実施（就業体験や現場見学）
- ・SNSや地域紙を活用した求人情報の積極発信
- ・農作業紹介やヘルパー制度の説明を含む広報動画の制作・配信

実施主体の構成員

釧路農業協同組合連合会

協力機関・連携先等

釧路管内農業協同組合・釧路管内市町村・ホクレン農業協同組合連合会

北海道農業協同組合中央会根釧支所・農業担い手育成協議会・釧路総合振興局

設定した成果目標・目標に対する進捗状況

1. 令和7年度 酪農ヘルパー
充足率：【実績】35% 【目標】60%
(内訳：酪農ヘルパー：募集人員17名(若干名は2名で算出)・採用実績：6名)
2. 令和7年度 雇用就農希望者(研修生等)
充足率：【実績】40% 【目標】60%
(内訳：酪農研修生：募集人員10名(若干名は2名で算出)・採用実績：4名)

今年度の取り組み内容

ア 労働力の需給状況の把握(地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等)

- ・釧路管内の酪農ヘルパー組合(8組合)の実態調査を行った。(令和8年1月現在)
- ・酪農ヘルパー人員を必要とする組合は、若干名を募集する組合及び5名を募集する組合がある。
- ・令和7年度採用実績は、1組合2名の採用を行った。
- ・令和8年度採用予定は、1組合4名の採用内定となっている。

イ 産地内での労働力確保・育成

- ・釧路短期大学(生活科学科)での授業講演会の実施
釧路管内の酪農とインターンシップ情報の内容について、本会(釧路農業協同組合連合会)・ホクレン釧路支所の担当職員が生活科学科1年生の25名を対象に授業のなかで講演会を行った。
- ・酪農学園大学における講演会・相談会の実施
釧路酪農の魅力や酪農経営の情報を発信して、新規就農や酪農ヘルパー、JA職員等の仕事に理解を深めてもらうため当地区生産者による講演会の実施と相談会を実施した。

今年度の取組み内容

ウ 他産地・他産業との連携による労働力確保

- ・全日本ホルスタイン共進会出場校との交流会の実施
令和7年10月23日～25日に北海道ホルスタイン共進会場(勇払郡安平町早来)で開催された全日本ホルスタイン共進会出場校との交流会を実施した。
- ・地域酪農の担い手確保・育成を目的として、他都府県の農業高校に釧路の酪農の魅力を伝える機会を提供し、交流を通じて就農や就職への関心を高めることと、将来のインターンシップや就農相談に繋がる関係づくりを促進するため、10年ぶりに北海道で開催されて全日本ホルスタイン共進会に高校生特別枠等にて出場していた高校の10校の生徒、担当教諭との交流を係留スペースにて開催をし、約40名との交流を図る取組みを行った。
- ・交流会参加高校：10校(内訳：東京都1校・宮城県1校・岐阜県1校・京都府1校・愛知県1校・鳥取県1校・熊本県1校・島根県1校・鹿児島県2校)

エ 労働力等のマッチング及びデータベース化

- ・道内及び道外の就農相談と定着支援の実施
釧路管内の新規就農者をはじめ、酪農ヘルパーや雇用労働力の人材確保を目的に道内及び道外の学校訪問・説明会を企画・実施をした。
 - 1) 道内(農業大学校：1校・大学：4校)
 - 2) 道外(高校：3校・専門学校：10校・大学：12校)
- ・釧路酪農相談会の開催
釧路地区独自の酪農相談を開催し、釧路管内の生活環境や住まい、移住に関するリアルな情報発信を行い酪農ヘルパーや農業法人等の採用情報、酪農体験プログラムや就農情報の発信を行った。また、釧路地域や酪農への関心を確認するため調査及び今後の酪農イベントの参加意向についてアンケートを実施した。
 - 1) 来場者数：160名
 - 2) アンケート回答：132名(回答率：82.5%)
 - 3) 就農相談者：14名(10.6%) *SNSによる応募。
 - 4) 回答内訳：釧路地域に興味がある及び少しある：120名(90.0%) ・酪農について興味がある及び少し興味がある：110名(83.3%)

オ 農業の「働き方改革」への取組

- ・農業法人経営者に向けた研修会の実施
異業種ではあるが、釧路市で市場を運営される丸中釧路中央青果株式会社の常務取締役 斉藤和芳氏に「若手人材雇用に対する取組み、自社のPRとその他に必要なツールとは？」をテーマに釧路地域の知名度向上と来訪促進のための戦略について、研修会を実施した。
- ・市場での勤務は、早朝に及ぶことが多く、人材不足という課題も含めて酪農業と似た側面をもっているところもあるため、時代にあった求人・働き方改革といった内容は大変参考になった。

本事業取組みにおける成果項目

- 1) 移住関連部局との連携による定住支援の取組み
道庁や市町村の移住・定住支援窓口との連携をし、地域外からの労働力確保に向けた支援体制を構築するため、酪農相談会を開催し定住・定着への取組みを行うことができた。
- 2) 教育機関(大学・専門学校・高等学校)への訪問活動の強化
農業系、動物系学科を有する学校を対象に、地域での就農や酪農業への関心を高めることから訪問活動及び説明会を実施して、インターンシップや就業体験の案内、進路指導者との連携等、釧路酪農のPR活動を行うことができた。
- 3) 全日本ホルスタイン共進会出場校との交流会の実施
地域酪農の担い手確保、育成を目的として農業高校に釧路酪農の魅力伝える機会を提供をし、交流を通じて就農や就業への関心を高めることと将来のインターンシップや就農相談に繋がる関係づくりを促進することができた。
- 4) 働き方改革の推進
人材不足という共通課題を含め酪農業と似た側面をもつ異業種の若手人材雇用に対する取組み、知名度向上と来訪促進のための戦略について、農業法人を対象に研修会を実施することができ、人材確保に向けたヒントを頂いた。

次年度以降の取組み内容

- 1) 調査結果に基づく広報戦略の強化(動画活用・WEB広告など)
調査結果を活かし、動画やWEB広告などを用いた効果的な情報発信して、求職者への適確なアプローチを行い、関心を高める。
- 2) 就農イベントへの積極参加
農業人フェアや就農イベントに出展し、個別相談を通じてマッチングの支援を行う。
- 3) 現場体験・インターンシップの推進
酪農現場での体験やインターンシップの受入れ体制を整備し、実際の仕事を体験してもらい、就業意欲や理解を深める。
- 4) 働き方改革の推進
経営者の意識改革と労働環境の向上を支援をし、持続可能な雇用体制の基盤づくりを推進する。
- 5) 就業者の定着支援とフォローアップの実施
就業者が長く働き続けられるよう、受入れ側へのフォローアップを実施し持続的な雇用体制の構築を図る。



釧路酪農相談会 (下段はフライヤー)



愛媛県立野村高等学校の出前授業



全日本ホルスタイン共進会交流会



国立大学法人高知大学の学校訪問



農業法人経営者に向けた研修会